



岬プロ第93-1号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

岬町長 石田 正



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった標記について、別紙のとおり意見・提案を提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

国及び地域の社会経済活動の発展を支える広域ネットワークを形成する道路の整備を確実に推進願いたい。

渋滞対策や都市の活力を高める道路整備、また歩道のバリアフリー化や生活道路の整備、舗装の更新など、住民の快適・安全・安心な暮らしを実現する道路整備や維持管理を着実に推進するため、これまで地方に配分されてきた額以上を「地方枠」として確保するとともに、その自由度を拡大するなど、さらなる地方財源の充実強化を図られたい。

また、道路の整備に当たっては、財源の制約もある中で、より低いコストでより早く効果を発現させることが重要であることから、全国一律の規格を定めるのではなく、地方の個別の事情に応じた柔軟な運用が行えるよう、配慮願いたい。

○現状

岬町は大阪府の最南端に位置し、大阪市の都心部まで概ね50km、和歌山市の中心部までは概ね10km、関西国際空港までは約20kmという人・物・情報の拠点に近接しながら、大阪湾を望む美しい海岸線と和歌山県に接する和泉山脈の豊かな緑に囲まれ、休日にはレクリエーション楽しむ人々が数多く訪れる地域である。

また、山間部では関西国際空港二期事業に関連した土砂採取跡地を利用して、岬町多奈川多目的公園を建設すべく平成18年度より工事を進めており、新たなにぎわい拠点として期待が寄せられている。

○課題

現在、本町の広域幹線道路は国道26号のみとなっており、休日のレジャー客のみならず、平日においても通過交通によって慢性的な渋滞を引き起こし、日常、経済活動に支障を及ぼしている。

特に、救急医療機関を有していない本町では、国道26号の渋滞が緊急搬送に支障を及ぼし、地域の住民に大きな不安を与えている。

本町では、「住民生活の充実」「新しい可能性の創造と“岬町”の魅力づくり」「住民・事業者・行政の協働まちづくり」の3つの「まちづくりの基本理念」のもと、健全な市街地環境の整備や魅力的な拠点形成を推し進めるため、

- ① 慢性的な渋滞の解消と通過交通を排除し、大阪・和歌山市方面を結ぶ第二阪和国道の整備による都市軸の強化。
- ② みさき公園や海水浴場等、海岸沿いある主要観光施設のネットワーク化による海洋レクリエーション軸の整備。
- ③ 岬町多奈川地区多目的公園や和歌山市加太方面との連携を図る東西連携軸の整備。
- ④ これら南北軸・東西・海洋レクリエーション軸を合わせた町域全体の格子状ネットワークの形成。

という都市軸を基本とした機能や魅力の集積及びネットワーク化をめざすべき「まちの将来構造」と位置付けている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

大阪府泉南郡岬町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
良好な生活空間 ・自然環境の形成	南北連携軸の整備	渋滞の解消と通過交通の排除により、 現国道26号沿道的环境向上	
地域活力の向上	道の駅の整備	観光・レクリエーションの振興	
	南北連携軸の整備 東西連携軸の整備	町内各拠点間の連絡が円滑化する ことで、各拠点の機能集積・魅力 向上が促進	
総合的な交通安全 対策及び危機管理 の強化	南北連携軸の整備	緊急車両の搬送時間短縮により、 救急体制を強化。 緊急交通路として活用することで、 広域防災活動体制を強化。	